

「はやぶさ2」感謝状

「はやぶさ2」感謝状受領

JAXAはやぶさ2プロジェクトから感謝状をいただきました。小惑星探査機「はやぶさ2」は、2014年12月に小惑星リュウグウに向けて打ち上げられ、2020年12月にリュウグウのサンプルを地球に持ち帰ることに成功しました。今回、地球帰還を記念して、明星電気としてだけでなく担当者個人にも感謝状が送られたものです。

当社は、衝突実験の状況を撮影した分離カメラ「DCAM3」（理学観測用のデジタル高解像度カメラ）や、水の存在を調査する近赤外分光計「NIRS3」の開発を担当し、「はやぶさ2」の探査ミッション成功に貢献しました。

明星電気は、これまでに培った技術を生かし、日本の宇宙開発の発展に貢献していきます。

（担当：宇宙防衛事業部）



掲載された磁気センサ(上)と磁気トルカ

NASAの小型衛星最新技術レポートに掲載

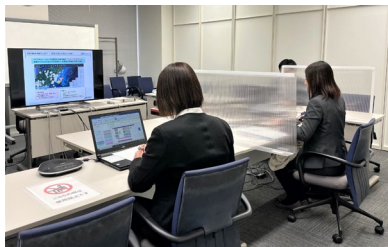
アメリカ航空宇宙局(NASA)が発行している小型衛星最新技術レポート「State-of-the-Art of Small Spacecraft Technology」に、当社の技術が取り上げられました。NASAの技術評価基準により最先端と評価された技術を持つ日本の企業5社が掲載されており、そのうちの1社として紹介されたものです。

マイナビTECH+のサイトでは、NASAの技術レポートに掲載された意義や、対象となる当社の磁気センサと磁気トルカ^{※1}に関する記事が掲載されていますのでご覧ください。

メーカー自身も驚いた、NASAが「宇宙用」に見出していた日本の企業5社
<https://news.mynavi.jp/techplus/article/20220103-2240757/>

※1 磁気センサ：磁場の大きさ・方向の計測を目的としたセンサ
 磁気トルカ：電磁石と地球磁場との作用を利用して、
 小型衛星等の姿勢制御を行う装置

（担当：宇宙防衛事業部）



オンラインセミナーの様子

POTEKAオンラインセミナーを開催しました！

1月27日に「気象災害リスクに備えて、今できること」をテーマに、約40の自治体職員の方々に参加いただきPOTEKAオンラインセミナーを開催しました。

講師の関西大学 小山倫史教授からは、「地域ごとの土砂災害対策の在り方」と題して、「福井市高須町住民による気象観測の仕組み構築と情報共有への取り組み」、「京都府京丹波町のPOTEKAによる気象観測結果を避難行動のきっかけにするための取り組み」の2件について講演いただきました。当社からは、「POTEKAを活用した地域防災対策とその期待される効果」と題して、POTEKAの説明と導入実績・活用事例を紹介しました。

今後もこのような機会を設け、POTEKAの活用事例や防災対策事例を紹介するとともに、安全・安心な社会の発展を目指して事業を展開していきます。

（担当：気象防災事業部）

【文中：敬称略】

Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により、革新的な商品・サービスを創造し、
 安全・安心な社会の発展に貢献していきます。